

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2014年11月28日～2024年11月15日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	<p>イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（※）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（※）」といいます。）の受益証券（円建）</p> <p>ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券（※）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。</p> <p>「米ドルコース」の場合…ノンヘッジ／N1クラス、「円コース」の場合…円ヘッジ／N1クラス、「世界通貨分散コース」の場合…通貨分散／N1クラス</p>	
運用方法		①主として、ストラテジック・インカム・ファンド（※）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
		②当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（※）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ストラテジック・インカム・ファンド（※）への投資割合を高位に維持することを基本とします。
	米ドルコース	ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	円コース	ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	世界通貨分散コース	ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）では、為替取引等を活用して、複数の通貨への投資成果の獲得をめざします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

米ドルコース 円コース 世界通貨分散コース

運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2018年5月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース／円コース／世界通貨分散コース」は、このたび、第7期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3247>
<3248>
<3249>

米ドルコース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率			
3 期 末 (2016年 5 月 16 日)	円 9,010		円 0	△ 10.1	% 0.0	% 98.7	百万円 107
4 期 末 (2016年 11 月 16 日)	9,173		0	1.8	0.0	99.5	139
5 期 末 (2017年 5 月 16 日)	9,815		0	7.0	0.0	98.7	159
6 期 末 (2017年 11 月 16 日)	9,851		0	0.4	—	98.7	127
7 期 末 (2018年 5 月 16 日)	9,484		0	△ 3.7	—	98.0	122

(注 1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,851円

期末：9,484円

騰落率：△3.7%

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）」）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資し運用した結果、保有債券の価格の下落（債券利回りの上昇）および米ドル円為替相場下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 米ドルコース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率							
(期 首) 2017年11月16日	円 9,851	% —		% —				% 98.7
11月末	9,810	△ 0.4		—				99.1
12月末	9,926	0.8		—				98.7
2018年 1 月末	9,551	△ 3.0		—				99.4
2 月末	9,348	△ 5.1		0.0				99.1
3 月末	9,227	△ 6.3		—				99.4
4 月末	9,448	△ 4.1		—				99.5
(期 末) 2018年 5 月16日	9,484	△ 3.7		—				98.0

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 11. 17 ~ 2018. 5. 16)

■ 米国債券市況

米国債券市場は、10年国債利回りで見ると金利は上昇しました。

期首から2018年1月にかけては、米国における税制改革法の成立や株式市場の上昇等を受けた市場のリスク選好度の高まりなどから、金利は上昇しました。2月に入ると、株式市場は調整したものの、F R B（米国連邦準備制度理事会）による2018年内の利上げ回数への期待および物価上昇への期待の高まりなどが、金利へのさらなる上昇圧力となりました。しかし3月には、米中間の貿易摩擦への懸念が広がったことや米国のテクノロジー関連株が急落したことなどをを受けて市場のリスク回避姿勢が強まり、金利は低下しました。期末にかけては、株式市場の反発や米中間の貿易摩擦への懸念が和らいだことに加え、米朝首脳会談に向けた調整が進んでいるとの報道や堅調な原油価格などをを受けて金利上昇圧力が強まり、10年国債利回りは3%を超えました。

■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

期首から2017年12月にかけておおむね横ばいで推移した後、2018年1月から3月にかけては、日本の金融正常化観測が高まったことや米国のムニューシン財務長官が米ドル安を容認する発言を行なったこと、世界的な株価調整を受けた投資家のリスク回避的な動きの強まりなどを背景として、米ドルは対円で下落しました。4月以降は、株式市場の反発や米朝首脳会談をめぐる報道、原油価格の上昇などにより米国金利への上昇圧力が高まり、米ドルは対円で上昇しましたが、期を通しては円高米ドル安となりました。

前期における「今後の運用方針」**■ 当ファンド**

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ **ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）**

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ **ダイワ・マネー・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 11. 17 ~ 2018. 5. 16)

■ **当ファンド**

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ **ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）**

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■ **ダイワ・マネー・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2017年11月17日 ～2018年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	371

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 11. 17~2018. 5. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0. 230%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 530円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0. 187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0. 027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0. 234	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年11月17日から2018年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 77.211	千円 9,500	千口 84.543	千円 10,500

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年11月17日から2018年5月16日まで)

当 期				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	77.211	9,500	123	NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	84.543	10,500	124

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS	千口 973.727	千円 120,281	% 98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 120,281	% 97.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	2,768	2.3
投資信託財産総額	123,051	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	123,051,109円
コール・ローン等	2,768,432
投資信託受益証券（評価額）	120,281,678
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	999
(B) 負債	282,626
未払信託報酬	277,864
その他未払費用	4,762
(C) 純資産総額（A－B）	122,768,483
元本	129,441,630
次期繰越損益金	△ 6,673,147
(D) 受益権総口数	129,441,630口
1万口当り基準価額（C／D）	9,484円

*期首における元本額は129,155,026円、当期中における追加設定元本額は14,158,225円、同解約元本額は13,871,621円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,484円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,673,147円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,109,630
(d) 分配準備積立金	2,694,341
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	4,803,971
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	4,803,971
(h) 受益権総口数	129,441,630口

■損益の状況

当期 自2017年11月17日 至2018年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 319円
受取利息	12
支払利息	△ 331
(B) 有価証券売買損益	△ 3,898,547
売買益	393,083
売買損	△ 4,291,630
(C) 信託報酬等	△ 282,628
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 4,181,494
(E) 前期繰越損益金	2,694,082
(F) 追加信託差損益金	△ 5,185,735
(配当等相当額)	(2,109,630)
(売買損益相当額)	(△ 7,295,365)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 6,673,147
次期繰越損益金（G）	△ 6,673,147
追加信託差損益金	△ 5,185,735
(配当等相当額)	(2,109,630)
(売買損益相当額)	(△ 7,295,365)
分配準備積立金	2,694,341
繰越損益金	△ 4,181,753

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

円コース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率			
3 期 末 (2016年 5 月 16 日)	円 9,721		円 0	% 0.6	% 0.0	% 99.6	百万円 154
4 期 末 (2016年 11 月 16 日)	9,792		0	0.7	0.0	99.4	330
5 期 末 (2017年 5 月 16 日)	9,964		0	1.8	0.0	99.1	535
6 期 末 (2017年 11 月 16 日)	9,963		0	△ 0.0	—	99.4	549
7 期 末 (2018年 5 月 16 日)	9,717		0	△ 2.5	—	98.8	581

(注 1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,963円

期末：9,717円

騰落率：△2.5%

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）」といいます。）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資し、為替ヘッジを行ない運用した結果、保有債券の価格の下落（債券利回りの上昇）などがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2017年11月16日	9,963	—		—			99.4
11月末	10,019	0.6		—			99.1
12月末	10,027	0.6		—			97.9
2018年 1 月末	9,989	0.3		—			99.1
2 月末	9,879	△ 0.8		0.0			99.4
3 月末	9,835	△ 1.3		—			99.1
4 月末	9,774	△ 1.9		—			99.0
(期 末) 2018年 5 月16日	9,717	△ 2.5		—			98.8

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 11. 17 ~ 2018. 5. 16)

米国債券市況

米国債券市場は、10年国債利回りで見ると金利は上昇しました。

期首から2018年1月にかけては、米国における税制改革法の成立や株式市場の上昇等を受けた市場のリスク選好度の高まりなどから、金利は上昇しました。2月に入ると、株式市場は調整したものの、F R B（米国連邦準備制度理事会）による2018年内の利上げ回数への期待および物価上昇への期待の高まりなどが、金利へのさらなる上昇圧力となりました。しかし3月には、米中間の貿易摩擦への懸念が広がったことや米国のテクノロジー関連株が急落したことなどをを受けて市場のリスク回避姿勢が強まり、金利は低下しました。期末にかけては、株式市場の反発や米中間の貿易摩擦への懸念が和らいだことに加え、米朝首脳会談に向けた調整が進んでいるとの報道や堅調な原油価格などをを受けて金利上昇圧力が強まり、10年国債利回りは3%を超えました。

短期金利市況

短期金利市況は、日本では日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、短期金利は低位で推移しました。

一方、米国では、2017年12月および2018年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.50~1.75%に引き上げました。

前期における「今後の運用方針」**当ファンド**

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 11. 17 ~ 2018. 5. 16)

■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2017年11月17日 ～2018年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	230

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つこと
 によって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整
 し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確
 保をめざして運用を行ないます。

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、ト
 ータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめ
 ざして運用を行ないます。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 11. 17~2018. 5. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	23円	0. 230%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 913円です。
（投信会社）	(19)	(0. 187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(3)	(0. 027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0. 234	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 円コース

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年11月17日から2018年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 629.541	千円 67,500	千口 234.989	千円 25,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年11月17日から2018年5月16日まで)

当				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 629.541	千円 67,500	円 107	NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 234.989	千円 25,000	円 106

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS	千口 5,475.973	千円 575,031	% 98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 0	千円 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 575,031	% 98.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	8,326	1.4
投資信託財産総額	583,359	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	583,359,529円
コール・ローン等	8,326,591
投資信託受益証券（評価額）	575,031,939
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	999
(B) 負債	1,473,534
未払解約金	132,105
未払信託報酬	1,318,489
その他未払費用	22,940
(C) 純資産総額（A－B）	581,885,995
元本	598,854,743
次期繰越損益金	△ 16,968,748
(D) 受益権総口数	598,854,743口
1万口当り基準価額（C／D）	9,717円

* 期首における元本額は551,163,568円、当期中における追加設定元本額は94,438,428円、同解約元本額は46,747,253円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,717円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は16,968,748円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	8,472,791
(d) 分配準備積立金	5,348,183
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	13,820,974
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	13,820,974
(h) 受益権総口数	598,854,743口

■損益の状況

当期 自2017年11月17日 至2018年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,734円
受取利息	64
支払利息	△ 1,798
(B) 有価証券売買損益	△ 12,948,631
売買益	423,743
売買損	△ 13,372,374
(C) 信託報酬等	△ 1,341,463
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 14,291,828
(E) 前期繰越損益金	4,338,391
(F) 追加信託差損益金	△ 7,015,311
(配当等相当額)	(8,472,791)
(売買損益相当額)	(△ 15,488,102)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 16,968,748
次期繰越損益金（G）	△ 16,968,748
追加信託差損益金	△ 7,015,311
(配当等相当額)	(8,472,791)
(売買損益相当額)	(△ 15,488,102)
分配準備積立金	5,348,183
繰越損益金	△ 15,301,620

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

世界通貨分散コース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	円	税 分 込 配 み 金	円	期 騰 落	中 率 %			
3 期 末 (2016年 5 月 16 日)	7,934	0	△	8.2	0.0	99.3	18	
4 期 末 (2016年 11 月 16 日)	7,922	0	△	0.2	0.0	99.2	15	
5 期 末 (2017年 5 月 16 日)	8,923	0		12.6	0.0	99.5	17	
6 期 末 (2017年 11 月 16 日)	9,062	0		1.6	—	99.2	16	
7 期 末 (2018年 5 月 16 日)	8,640	0	△	4.7	—	99.4	13	

(注 1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

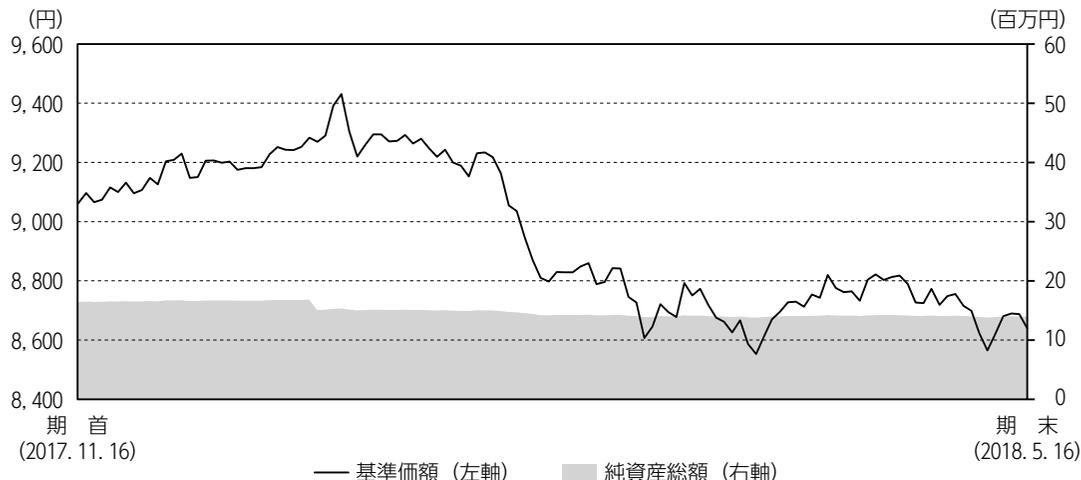
(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：9,062円

期末：8,640円

騰落率：△4.7%

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散/N1クラス）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散/N1クラス）」といいます。）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等（※1）に分散投資し、為替取引等を活用して、分散通貨（※2）への投資成果の獲得をめざし運用を行なった結果、保有債券の価格の下落（債券利回りの上昇）および為替相場において分散通貨が円に対して下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※1 国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

※2 分散通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引等の対象通貨として選定された通貨をいいます。当期においては、米ドル、カナダ・ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル、韓国ウォン、インドネシア・ルピア、中国・人民元、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、ブラジル・レアル、メキシコ・ペソを分散通貨としました。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 世界通貨分散コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率							
(期 首) 2017年11月16日	円	%		%				%
	9,062	—		—				99.2
11月末	9,148	0.9		—				99.2
12月末	9,270	2.3		—				99.4
2018年1月末	9,153	1.0		—				99.4
2月末	8,842	△ 2.4		0.0				99.3
3月末	8,728	△ 3.7		—				99.3
4月末	8,749	△ 3.5		—				99.4
(期 末) 2018年5月16日	8,640	△ 4.7		—				99.4

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 11. 17 ~ 2018. 5. 16)

米国債券市況

米国債券市場は、10年国債利回りで見ると金利は上昇しました。

期首から2018年1月にかけては、米国における税制改革法の成立や株式市場の上昇等を受けた市場のリスク選好度の高まりなどから、金利は上昇しました。2月に入ると、株式市場は調整したものの、F R B（米国連邦準備制度理事会）による2018年内の利上げ回数への期待および物価上昇への期待の高まりなどが、金利へのさらなる上昇圧力となりました。しかし3月には、米中間の貿易摩擦への懸念が広がったことや米国のテクノロジー関連株が急落したことなどをを受けて市場のリスク回避姿勢が強まり、金利は低下しました。期末にかけては、株式市場の反発や米中間の貿易摩擦への懸念が和らいだことに加え、米朝首脳会談に向けた調整が進んでいるとの報道や堅調な原油価格などをを受けて金利上昇圧力が強まり、10年国債利回りは3%を超えました。

為替相場

当期における分散通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

中国・人民元、韓国ウォン、英ポンドは対円で上昇しました。一方で、ユーロ、米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、メキシコ・ペソ、インドネシア・ルピア、ロシア・ルーブル、インド・ルピー、ブラジル・レアルは対円で下落しました。

短期金利市況

米ドル以外の選定した通貨の短期金利は、ユーロ、英ポンド、カナダ・ドルについては米ドルの短期金利を下回る水準で推移しました。韓国ウォン、豪ドルについては、米ドルの短期金利とおおむね同程度の水準で推移しました。その他の通貨については、米ドルの短期金利を上回って推移しました。

米国では、2017年12月および2018年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.50~1.75%に引き上げました。

前期における「今後の運用方針」**当ファンド**

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整

し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国通貨と新興国通貨合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

※流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 11. 17 ~ 2018. 5. 16)

■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

また、為替取引等を活用して、分散通貨への投資成果の獲得をめざしました。取引対象通貨においては、先進国通貨と新興国通貨の中から各国の経済規模や通貨の流動性等を考慮し、12通貨を選定し、運用を行ないました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を行ないませんでした。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2017年11月17日 ～2018年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことにより、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国通貨と新興国通貨合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

※流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 11. 17~2018. 5. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	21円	0. 230%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 955円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0. 187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0. 027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	21	0. 234	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年11月17日から2018年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 —	千円 —	千口 19.611	千円 1,850

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年11月17日から2018年5月16日まで)

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N 1 CLASS (ケイマン諸島)	19.611	1,850	94

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取 引 の 理 由
百万円 12	百万円 —	百万円 —	百万円 12	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N 1 CLASS	千口 156.646	千円 13,849	% 99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 13,849	% 99.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	120	0.9
投資信託財産総額	13,971	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,971,668円
コール・ローン等	120,803
投資信託受益証券 (評価額)	13,849,866
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	999
(B) 負債	34,845
未払信託報酬	34,302
その他未払費用	543
(C) 純資産総額 (A - B)	13,936,823
元本	16,130,641
次期繰越損益金	△ 2,193,818
(D) 受益権総口数	16,130,641口
1万口当り基準価額 (C / D)	8,640円

* 期首における元本額は18,145,994円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,015,353円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,640円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,193,818円です。

■損益の状況

当期 自2017年11月17日 至2018年5月16日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 646,577円
売買益	42,450
売買損	△ 689,027
(B) 信託報酬等	△ 34,845
(C) 当期損益金 (A + B)	△ 681,422
(D) 前期繰越損益金	△ 70,968
(E) 追加信託差損益金	△ 1,441,428
(売買損益相当額)	(△) 1,441,428)
(F) 合計 (C + D + E)	△ 2,193,818
次期繰越損益金 (F)	△ 2,193,818
追加信託差損益金	△ 1,441,428
(売買損益相当額)	(△) 1,441,428)
繰越損益金	△ 752,390

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	0
(h) 受益権総口数	16,130,641口

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド
 (ノンヘッジ／N1クラス) / (円ヘッジ／N1クラス) / (通貨分散／N1クラス)

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース／円コース／世界通貨分散コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）／（円ヘッジ／N1クラス）／（通貨分散／N1クラス）」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年5月16日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
 2017年2月28日

資産

投資資産の評価額（簿価 \$31,604,170）	\$	31,715,556
現金		3,476
外国通貨の評価額（簿価 \$1,453）		5
外国為替先渡契約による評価益		41,703
未収：		
売却済みの投資（繰延受渡）		417,491
売却済みの投資		371,933
利息		102,667
受益証券の発行		16,088
未収変動証拠金		66,132
前払受託会社報酬		12,615
資産合計		32,747,666

負債

外国為替先渡契約による評価損		135
未払：		
購入済みの投資（繰延受渡）		6,007,081
購入済みの投資		332,037
専門家報酬		57,577
運用会社報酬		22,968
保管会社報酬		22,235
償還済み受益証券		14,300

会計および管理会社報酬	7,202
名義書換代理人報酬	1,222
為替取引執行会社報酬	317
為替運用会社報酬	188
その他負債	400
負債合計	6,465,662

純資産	\$ 26,282,004
------------	----------------------

純資産

通貨セレクトクラス	\$ 1,575,036
通貨分散／N1クラス	151,829
円ヘッジクラス	13,345,723
円ヘッジ／N1クラス	4,873,483
ノンヘッジクラス	3,426,627
ノンヘッジ／N1クラス	2,909,306
	\$ 26,282,004

発行済み受益証券口数

通貨セレクトクラス	2,441,600
通貨分散／N1クラス	194,893
円ヘッジクラス	17,070,024
円ヘッジ／N1クラス	5,111,676
ノンヘッジクラス	2,966,002
ノンヘッジ／N1クラス	2,622,653

受益証券1口当り純資産額

通貨セレクトクラス	\$ 0.645
通貨分散／N1クラス	\$ 0.779
円ヘッジクラス	\$ 0.782
円ヘッジ／N1クラス	\$ 0.953
ノンヘッジクラス	\$ 1.155
ノンヘッジ／N1クラス	\$ 1.109

損益計算書

2017年2月28日に終了した年度

投資収益

受取利息（源泉徴収税 \$15,284 控除後）	\$	751,941
配当収益（源泉徴収税 \$130,362 控除後）		304,178
投資収益合計		1,056,119

費用

運用会社報酬		158,974
保管会社報酬		130,294
専門家報酬		56,150
会計および管理会社報酬		44,877
名義書換代理人報酬		12,783
受託会社報酬		12,566
為替運用会社報酬		3,050
為替取引執行会社報酬		2,107
登録料		1,023
その他費用		2,423
費用合計		424,247

投資純利益		631,872
--------------	--	----------------

実現益（損）および評価益（損）：

実現益（損）：

証券投資	(471,918)
先物取引	(5,580)
スワップ契約	(49,512)
外国為替取引および外国為替先渡契約	854,919
純実現益	327,909

評価益（損）の純変動：

証券投資	2,198,283
スワップ契約	16,415
先物取引	(6,476)
外国為替換算および外国為替先渡契約	(709,156)
評価益の純変動	1,499,066

純実現・純評価益		1,826,975
-----------------	--	------------------

運用による純資産の純増	\$	2,458,847
--------------------	----	------------------

(米ドル建て)

投資明細表
2017年2月28日

元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
	債券 (81.8%)			USD	106,777		106,777
	メキシコ (2.4%)						
	国債 (2.4%)						
	Mexican Bonos						
MXN 6,000,000	5.75% due 03/05/26		\$ 268,486				
MXN 7,520,000	7.75% due 11/13/42		372,469				
	国債合計		640,955				
	メキシコ合計 (簿価		640,955				
	\$813,733)						
	オランダ (0.4%)						
	社債 (0.4%)						
	Mylan NV (a)			USD	415,000		389,671
USD 95,000	3.95% due 06/15/26		92,792				
	社債合計		92,792				
	オランダ合計 (簿価		92,792				
	\$94,313)						
	ニュージーランド (0.4%)						
	国債 (0.4%)						
	New Zealand						
	Government Bond						
NZD 125,000	2.50% due 09/20/35		92,437	USD	700,000		674,826
	国債合計		92,437				
	ニュージーランド合計 (簿		92,437				
	価 \$100,923)						
	南アフリカ (1.8%)						
	国債 (1.8%)						
	Republic of South Africa						
	Government Bond						
ZAR 8,560,000	6.50% due 02/28/41		467,050	USD	1,508,163		82,132
	国債合計		467,050				
	南アフリカ合計 (簿価		467,050				
	\$583,620)						
	英国 (0.7%)						
	社債 (0.7%)						
	Barclays PLC (a)						
USD 175,000	4.34% due 01/10/28		176,913	USD	145,000		141,225
	社債合計		176,913				
	英国合計 (簿価 \$175,000)		176,913				
	米国 (76.1%)						
	資産担保証券 (21.6%)						
	Accredited Mortgage						
	Loan Trust 2006-1 Class						
	A4 (a), (b)						
USD 270,000	1.06% due 04/25/36		246,898	USD	90,000		80,166
	American Airlines						
	Pass-Through Trust						
	Series 2014-1 Class B						
				USD	65,000		58,808

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額		元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD	50,000	HSI Asset Securitization Corp. Trust Series 2006-OPT 1 Class M 1 (a), (b) 1.14% due 12/25/35		47,577	USD	167,149	Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2006-AM 1 Class A 4 (a), (b) 0.94% due 04/25/36		163,977
		JP Morgan Mortgage Acquisition Trust Series 2007-CH 1 Class MV 2 (a), (b) 1.06% due 11/25/36		108,238			資産担保証券合計		5,667,013
USD	115,000	Morgan Stanley Bank of America Merrill Lynch Trust Series 2014-C16 Class XA (b) 1.19% due 06/15/47		86,489	USD	70,000	Abbott Laboratories (a) 4.90% due 11/30/46		72,776
USD	1,550,631	Navient Student Loan Trust Series 2016-6 A Class A 1 (a), (b), (c) 1.26% due 03/25/66		102,787	USD	100,000	AbbVie, Inc. (a) 4.45% due 05/14/46		96,908
USD	102,636	New Century Home Equity Loan Trust Series 2005-B Class A 2 D (a), (b) 1.18% due 10/25/35		155,743	USD	80,000	Air Lease Corp. 2.13% due 01/15/20		79,164
USD	157,751	Park Place Securities, Inc. Asset-Backed Pass-Through Certificates Series 2005-WCH 1 Class M 4 (a), (b) 2.02% due 01/25/36		297,141	USD	30,000	Anheuser-Busch InBev Finance, Inc. (a) 3.65% due 02/01/26		30,519
USD	303,000	RAAC Trust Series 2006-SP 2 Class M 1 (a), (b) 1.12% due 02/25/36		185,829	USD	85,000	Apple, Inc. (a) 4.65% due 02/23/46		92,426
USD	200,000	RAMP Trust Series 2005-RZ 1 Class M 5 (a), (b) 1.41% due 10/25/34		228,895	USD	180,000	AT&T, Inc. (a) 4.75% due 05/15/46		168,322
USD	238,889	RAMP Trust Series 2005-RZ 2 Class M 4 (a), (b) 1.34% due 05/25/35		219,290	USD	175,000	Bank of America Corp. 3.95% due 04/21/25		125,464
USD	230,000	RASC Trust Series 2005-KS10 Class M 2 (a), (b) 1.22% due 11/25/35		367,398	USD	125,000	Charter Communications Operating LLC / Charter Communications Operating Capital (a) 4.91% due 07/23/25		184,346
USD	385,000	Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2005-WF 4 Class M 4 (a), (b) 1.36% due 11/25/35		335,489	USD	130,000	Charter Communications Operating LLC / Charter Communications Operating Capital (a) 6.48% due 10/23/45		150,887
USD	350,000				USD	140,000	Citigroup, Inc. 4.40% due 06/10/25		143,806
					USD	165,000	Diamond 1 Finance Corp. / Diamond 2 Finance Corp. (a), (c) 4.42% due 06/15/21		173,026
					USD	145,000	Discover Financial Services (a) 4.10% due 02/09/27		115,851
					USD	75,000	Energy Transfer Partners LP (a) 6.50% due 02/01/42		84,661
					USD	130,000	EPR Properties (a) 5.75% due 08/15/22		141,987
					USD	75,000	ERAC USA Finance LLC (a), (c) 4.20% due 11/01/46		70,006
					USD	95,000	Ford Motor Co. (a) 4.35% due 12/08/26		97,695

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本		有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本		有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD	70,000	General Motors Co. (a) 6.75% due 04/01/46		85,013	USD	65,000	3.88% due 04/01/24 (a)		64,745
		General Motors Financial Co., Inc. (a)			USD	160,000	4.38% due 03/15/43		140,402
USD	110,000	3.20% due 07/06/21		111,297	USD	180,000	5.88% due 02/28/57 (a), (b)		183,301
USD	130,000	4.00% due 10/06/26		129,412			社債合計		4,898,440
USD	95,000	4.30% due 07/13/25		96,783			国債 (35.9%)		
USD	90,000	Georgia Power Co. (a) 3.25% due 03/30/27		89,898			Federal Home Loan Mortgage Corp., TBA (e)		
USD	185,000	Goldman Sachs Group, Inc.		181,207	USD	395,000	3.00% due 03/01/31		406,353
USD	95,000	2.35% due 11/15/21 (a)		101,245	USD	585,000	3.00% due 03/01/47		580,580
USD	120,000	Hess Corp. (a) 4.30% due 04/01/27		120,035	USD	255,000	3.50% due 03/01/46		261,345
USD	155,000	Hewlett Packard Enterprise Co. (a)		161,282	USD	1,040,000	4.00% due 03/01/46		1,093,082
USD	145,000	HP, Inc. 4.65% due 12/09/21		155,379			Federal National Mortgage Association, TBA (e)		
USD	25,000	Kinder Morgan Energy Partners LP (a)		25,977	USD	255,000	3.00% due 03/01/32		262,212
USD	95,000	Kinder Morgan, Inc. (a) 5.55% due 06/01/45		100,247	USD	630,000	3.00% due 03/01/46		625,767
USD	90,000	Microsoft Corp. (a) 4.50% due 02/06/57		93,386	USD	240,000	3.50% due 03/01/46		246,019
USD	185,000	Morgan Stanley 3.63% due 01/20/27		184,317	USD	1,365,000	4.00% due 03/01/47		1,434,541
USD	85,000	4.38% due 01/22/47		86,396	USD	80,000	4.50% due 03/01/47		85,963
USD	60,000	5.45% due 12/31/49 (a), (b), (d)		61,547			Government National Mortgage Association, TBA (e)		
USD	85,000	Noble Energy, Inc. (a) 5.25% due 11/15/43		89,613	USD	310,000	3.00% due 03/01/46		313,681
USD	55,000	Novartis Capital Corp. (a)		55,087	USD	105,000	3.50% due 03/01/46		109,151
USD	55,000	3.10% due 05/17/27		55,046	USD	170,000	4.00% due 03/01/47		179,895
USD	60,000	Omega Healthcare Investors, Inc. (a)		63,442	USD	145,000	Resolution Funding Corp. Interest Strip zero coupon due 04/15/29		100,074
USD	145,000	4.50% due 01/15/25		141,935	USD	365,000	3.88% due 08/15/40		425,026
USD	60,000	Reynolds American, Inc. (a)		63,442	USD	30,000	5.50% due 08/15/28		39,110
USD	145,000	4.88% due 03/01/24		141,935			U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds		
USD	60,000	Verizon Communications, Inc.		52,589	USD	133,806	2.00% due 01/15/26		153,010
USD	114,000	4.13% due 08/15/46		103,785	USD	106,828	2.50% due 01/15/29		131,863
		4.67% due 03/15/55		103,785	USD	104,490	3.63% due 04/15/28		140,130
		Viacom, Inc.		103,785	USD	1,307,072	3.88% due 04/15/29		1,826,523
					USD	377,152	U.S. Treasury Inflation Indexed Note		376,290
					USD	65,000	0.25% due 01/15/25		376,290
					USD	115,000	U.S. Treasury Notes		
					USD	145,000	1.50% due 02/28/23		62,880
					USD	70,000	1.63% due 02/15/26		108,190
					USD	250,000	2.13% due 12/31/21		146,557
							2.75% due 02/15/24		72,557
							3.63% due 08/15/19		263,740
							国債合計		9,444,539

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

対純資産比率				対純資産比率			
元本	有価証券の明細	対純資産比率	評価額	元本	有価証券の明細	対純資産比率	評価額
	米国合計 (簿価 \$19,710,110)		20,009,992		グランド・ケイマン (0.1%)		
	債券合計 (簿価 \$21,477,699)		21,480,139		定期預金 (0.1%)		
					Brown Brothers Harriman & Co.		
口数	上場投資信託 (ETF)			EUR	0** -0.58% due 03/01/17		1
	(27.7%)			JPY	46,689 -0.20% due 03/01/17		417
	米国 (27.7%)			GBP	6 0.05% due 03/01/17		7
22,620	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF		1,997,120	CAD	54 0.05% due 03/01/17		41
	iShares JP Morgan USD Emerging Markets Bond ETF		931,192	AUD	907 0.49% due 03/01/17		697
8,200	PowerShares Senior Loan Portfolio		2,353,569	NZD	839 0.80% due 03/01/17		607
	SPDR Bloomberg Barclays High Yield Bond ETF		2,006,530	ZAR	280,869 5.45% due 03/01/17		21,473
100,709	米国合計		7,288,411		定期預金合計		23,243
	上場投資信託 (ETF) 合計 (簿価 \$7,179,465)		7,288,411		グランド・ケイマン合計 (簿価 \$23,243)		23,243
					スウェーデン (9.2%)		
					定期預金 (9.2%)		
					Skandinaviska Enskilda Banken AB		
				USD	2,424,532 0.27% due 03/01/17		2,424,532
					定期預金合計		2,424,532
					スウェーデン合計 (簿価 \$2,424,532)		2,424,532
					短期投資合計 (簿価 \$2,947,006)		2,947,006
					投資総額 (簿価 \$31,604,170)	120.7%	\$ 31,715,556
USD	500,000		499,231		現金および他の資産を超過する負債	(20.7)	(5,433,552)
			499,231		純資産	100.0%	\$ 26,282,004
			499,231				

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最善の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

用語集：

TBA To be announced (事後告知) の略。米国政府機関によって発行される不動産ローン担保証券の先渡取引で、合意された将来の決済日に受渡しがされます。

* この証券のすべてもしくは一部が2017年2月28日時点の先物取引の担保として取引相手に差し入れられています。

**0.05未満

- 償還条項付き証券。
- 2017年2月28日時点の変動金利証券。
- 144A 証券 - 1933年証券取引法の規則144Aの下でSECへの登録の適用除外になっている証券。これらの証券は、登録せずに主として適格機関投資家に転売が可能です。他に指定がない限り、これらの証券は非流動的だとはみなされません。
- 永久債。
- 発行日取引または繰延受渡しベースで購入された証券。

2017年2月28日時点の先物取引（純資産の-0.2%）

ポジション	銘柄	限月	枚数	評価益 / (損)
Long	British Pound March Futures	2017年3月	3	\$ (3,762)
Short	Euro Buxl 30 Year Bond June Futures	2017年6月	(4)	(2,975)
Short	Euro FX March Futures	2017年3月	(7)	(4,143)
Short	Euro-Bobl June Futures	2017年6月	(3)	(191)
Short	Euro-Bund June Futures	2017年6月	(1)	(340)
Short	Euro-OAT June Futures	2017年6月	(5)	(1,371)
Short	Long Gilt June Futures	2017年6月	(6)	(15,904)
Short	Mexican Peso March Futures	2017年3月	(4)	(1,950)
Short	New Zealand Dollar March Futures	2017年3月	(1)	(920)
Short	South African Rand (CME) March Futures	2017年3月	(13)	(32,611)
Long	Swedish Krona March Futures	2017年3月	1	2,958
Short	U. S. Treasury 10 Year Note (CBT) June Futures	2017年6月	(15)	(7,735)
Long	U. S. Treasury 10 Year Ultra June Futures	2017年6月	8	8,688
Long	U. S. Treasury Long Bond (CBT) June Futures	2017年6月	4	6,018
Long	U. S. Treasury Ultra Bond (CBT) June Futures	2017年6月	3	6,956
Short	United States Dollar March Futures	2017年3月	(7)	(1,365)
Short	USD IRS 10 Year Prim March Futures	2017年3月	(1)	(639)
				\$ (49,286)

2017年2月28日時点で、中央清算対象スワップ取引の累積マージンとして、\$10,349が支払われました。

2017年2月28日時点の中央清算対象のクレジット・デフォルト・スワップ（純資産の0.1%）

通貨	取引相手	想定元本	信用プロ テクション	インデックス	受取/ (支払)	インプライド 信用スプレッド	満期日	評価益 / (損)
USD	JP Morgan Chase & Co.	717,750	Sell	CDX.NA.HY.27 Index	5.000%	3.51%	2021年12月20日	\$ 16,538

2017年2月28日時点の通過セレクトクラス外国為替先渡契約（純資産の0.1%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
BRL	Citibank N. A.	891,195	2017年3月10日	USD	283,021	\$ 2,858	\$ —	\$ 2,858
IDR	Citibank N. A.	3,332,806,124	2017年3月10日	USD	249,835	—	(135)	(135)
INR	Citibank N. A.	17,448,929	2017年3月10日	USD	259,348	1,921	—	1,921
RUB	Citibank N. A.	15,617,192	2017年3月10日	USD	261,819	4,829	—	4,829
TRY	Citibank N. A.	1,033,187	2017年3月10日	USD	275,581	8,619	—	8,619
ZAR	Citibank N. A.	3,227,894	2017年3月10日	USD	239,352	7,088	—	7,088
						\$ 25,315	\$ (135)	\$ 25,180

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

2017年2月28日時点の円ヘッジクラス外国為替先渡契約（純資産の0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / （損）
JPY	Citibank N. A.	1,491,610,675	2017年3月10日	USD	13,325,958	\$ 8,369	\$ —	\$ 8,369

2017年2月28日時点の円ヘッジ／N1クラス外国為替先渡契約（純資産の0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / （損）
JPY	Citibank N. A.	546,018,977	2017年3月10日	USD	4,873,143	\$ 8,019	\$ —	\$ 8,019

2017年2月28日時点の通貨分散／N1クラスのトータル・リターン・スワップ（純資産の0.0%）

想定元本	取引相手	参照法人	通貨	満期日	評価額
141,295	Nomura Securities Co., Ltd.	Nomura 12 Currency Basket Strategy	USD	2017年3月31日	\$ —

通貨の略称

AUD	—	オーストラリア・ドル
BRL	—	ブラジル・レアル
CAD	—	カナダ・ドル
EUR	—	ユーロ
GBP	—	英ポンド
IDR	—	インドネシア・ルピア
INR	—	インド・ルピー
JPY	—	日本円
MXN	—	メキシコ・ペソ
NZD	—	ニュージーランド・ドル
RUB	—	ロシア・ルーブル
TRY	—	トルコ・リラ
USD	—	米ドル
ZAR	—	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース/円コース/世界通貨分散コース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年5月16日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を38ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年11月17日から2018年5月16日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
707 国庫短期証券 2017/12/11	230,001 千円		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001 千円		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2018年5月16日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（87,753,986千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2018年5月16日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	999,999 千円	<1.1> %

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

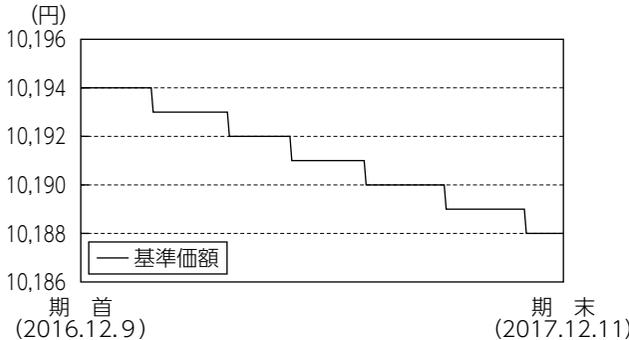
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	%	%	%
(期首)2016年12月9日	10,194	-	-	30.1
12月末	10,194	0.0	-	-
2017年1月末	10,194	0.0	30.7	-
2月末	10,193	△0.0	24.6	-
3月末	10,193	△0.0	-	-
4月末	10,192	△0.0	32.5	-
5月末	10,191	△0.0	5.2	-
6月末	10,191	△0.0	0.5	-
7月末	10,190	△0.0	0.1	-
8月末	10,190	△0.0	-	-
9月末	10,189	△0.0	-	-
10月末	10,189	△0.0	-	-
11月末	10,188	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,188	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,194円 期末：10,188円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量の・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額	
		千円	千円
国債証券	210,925,408	—	(231,500,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額	
		千円	千円
国内短期社債等	246,999,814	246,999,819	(—)

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

銘 柄	期	買 付		売 付	
		金 額		金 額	
		千円	千円	千円	千円
645 国庫短期証券	2017/2/20	27,570,641	—	—	—
657 国庫短期証券	2017/4/17	17,880,344	—	—	—
642 国庫短期証券	2017/2/6	17,230,250	—	—	—
652 国庫短期証券	2017/3/27	16,550,132	—	—	—
659 国庫短期証券	2017/4/24	16,270,410	—	—	—
669 国庫短期証券	2017/6/12	15,870,490	—	—	—
651 国庫短期証券	2017/3/21	13,160,344	—	—	—
644 国庫短期証券	2017/5/12	11,970,533	—	—	—
638 国庫短期証券	2017/1/16	9,360,075	—	—	—
648 国庫短期証券	2017/3/6	7,370,272	—	—	—

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,737,046	100.0
投資信託財産総額	69,737,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,737,046,159円
コール・ローン等	68,737,047,077
現先取引(その他有価証券)	999,999,082
(B) 負債	60,400,000
未払解約金	60,400,000
(C) 純資産総額(A-B)	69,676,646,159
元本	68,390,547,168
次期繰越損益金	1,286,098,991
(D) 受益権総口数	68,390,547,168口
1万口当り基準価額(C/D)	10,188円

* 期首における元本額は66,967,614,984円、当期中における追加設定元本額は143,241,011,614円、同解約元本額は141,818,079,430円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、ダイワ / "R I C I" コモディティ・ファンド 8,952,508円、U S 債券 N B 戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券 N B 戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,898,147,134円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト 317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド - パラダイムシフター - 9,853,995円、プルベア・マネー・ポートフォリオ IV 25,987,316,146円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 31,864,786,854円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 7,199,848,570円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワ S M A 専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 68,368,780円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス II - 金積立型 - 501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド (償還条項付き) 為替ヘッジあり 1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 米ドルコース 285,029円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 日本円コース 144,570円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 通貨αコース 13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ 1,229,944円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド (ダイワ S M A 専用) 235,407円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース 982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,188円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 41,076,414円
受取利息	△ 5,752,611
支払利息	△ 35,323,803
(B) 有価証券売買損益	9,224
売買損	9,224
(C) その他費用	△ 196,417
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 41,282,055
(E) 前期繰越損益金	1,302,196,055
(F) 解約差損益金	△ 2,715,466,915
(G) 追加信託差損益金	2,740,651,906
(H) 合計(D+E+F+G)	1,286,098,991
次期繰越損益金(H)	1,286,098,991

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。